

令和2年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和2年7月31日（金） 於：沖縄防衛局
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学名誉教授） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元沖縄県経営者協会常務理事）

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和元年10月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	171件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	13件	（審議概要）
建設工事	一般競争	4件
	指名競争	0件
	随意契約	3件
建設コンサルタント業務等	6件	・対象期間における契約状況、指名停止状況、低入札価格調査について報告 ・審議対象案件における工事・業務概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【契約状況・指名停止状況・低入札価格調査状況について】</p> <p>【抽出事案について】</p> <p>● 工事 一般競争入札方式 コートニー（元）保安施設（0207）新設電気その他工事</p> <p>○ 4者も辞退となっているが何故か。</p> <p>一般競争入札方式 ハンセン（R元）運動施設（4036）改修土木工事</p> <p>○ 当該工事が、1者応札となった理由は分析されているのか。</p>	<p>○ 特になし。</p> <p>○ 参加者に聞き取ったところ、同時に他工事にも参加申請していたことにより、先に落札した工事に技術者を配置するため、辞退したいとのことであった。</p> <p>○ 本工事が運動施設整備により特殊であることや、この期間に複数の大手舗装業者が指名停止となっていたことが影響したのではないかと考えられる。</p>

**随意契約
空自那覇（元）滑走路管路土木
追加工事**

- 随意契約で仮に折り合いがつかない場合はどのように対応するのか。
- 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第102条第4第4号イに該当するとして随意契約を実施しているが、履行中の契約者以外の者に履行させることが不利な場合とは、具体的に何か。
- 予定価格を下回るまで見積り合せを行う。
- 空港の制限区域の新たな立入手続きや機材及び薬液注入用のプラント等を新たに設置する必要があるなど、工期や経費の面で不利である。

**●業務
一般競争入札方式
沖縄防衛局（元）資材価格等調
査業務（その1）**

- 毎年同じ業者による1者応札となっているが、競争性が働くようにするためにどのような対策をされているのか。
- この業務は、一般的に行われない業務であるため、敬遠されているのかも。
- 企業のHP等の情報を基に、複数の業者に案内をしているが、入札に参加していただけない状況である。
- そのような理由もあるのかと思われる。また、落札業者は全国に支部があり、ノウハウも豊富であるが、その他の業者は、なかなか参入は難しいのではないかと考えられる。

**一般競争入札方式
陸自宮古島（元）宿舎測量調査**

- この業務は落札率が約60%と低いが、品質に問題はなかったのか。
- 品質に問題はなかった。

**公募型プロポーザル方式
シュワブ（R元）ジュゴン監視
等業務**

- この業務も過去から1者応募であるが、参加者を増やす努力はされているのか。
- 手続きは問題ないとしても、1者応募が続き、落札率、落札金額も高い状況である。発注者として金額の妥当性は検証しているのか。
- 見積りを提出した業者は、入札に参加いただけないものか。
- 当局としては、入札参加者を公募しているが、業務内容の特殊性もあり、入札に参加していただけない状況である。
- 複数の業者からも見積りを取り、妥当性を確認している。
- 現状としては、入札に参加していただけない状況である。

- 参加しない業者から見積りを取っても意味がないのではないか。
別の視点で検証が必要であると思われる。

● 工 事
一般競争入札方式
シュワブ（R元）埋立追加工事
（1工区）

- 先程の空自那覇（元）滑走路管路土木追加工事は随意契約であったが、本件は一般競争入札なのか。
- シュワブ（H29）埋立工事（1工区）とは別の業者が落札したのか。

一般競争入札方式
陸自宮古島（元）訓練施設新設
建築工事

- 価格評価点及び技術評価点について説明されたい。

随意契約（企画競争）
空自那覇（元）局舎空調設備
整備工事

- この工事を企画競争で実施した理由を説明されたい。
- これは会計法だと、どの条項に該当するのか。
- 契約するときに、知り得た情報を漏洩しないなどの誓約書を交わすのか。

随意契約
牧補（R元）工場新設機械追加工事

- 前工事と後工事の関連性が複雑なため、次回の委員会で前工事の契約内容と後工事との関連性について、整理して説明されたい。

- 今回のご意見を承り、今後、参考とさせていただきます。

- 本工事は、工事内容や工事計画などを踏まえ、一般競争入札で行った。

- 同じ業者が落札した。

- 各評価点について説明。

- 本工事は「秘密を要する場合における調達」に指定された建設工事のため、「建設工事の入札・契約手続きにあたって一般競争によらないことができる自衛隊施設の調達の実施について（通知）」において、原則として企画競争に付するものとされており、「秘密を要する調達に係る建設工事等の発注について（通知）」に基づき、最も適切な企画競争資料を提出した者と随意契約を行った。

- 予決令の第99条第1号の「国の行為を秘密にする必要があるとき」に該当する。

- そのとおりである。

- 承知した。

	<p>●業務 一般競争入札 瑞慶覧（R元）立体駐車場（4220）新設等建築設計</p> <p>○ 設計の内容が立体駐車場、野球場など複数の対象施設が含まれるが、このようにまとめて発注することは普通なのか。</p> <p>公募型プロポーザル方式 シュワブ（R元）統括事業監理業務（その1）</p> <p>○ 本業務も1者応札であり、落札者は8社による共同体であるが、この結果だけをみると、他の業者や企業体は参加できないのではないのか。</p> <p>○ 業者からの提案は1者応募でも、厳密に審査は行うのか。</p> <p>○ その審査は防衛局職員が行うのか。</p> <p>○ これだけの内容を審査するには、相当な知識が必要かと思われるが。</p> <p>一般競争入札 シュワブ（R元）屋外訓練場新設建築土質調査</p> <p>○ 落札率が約44%と低いですが、このような金額で応札した理由をどのように考えているのか。</p>	<p>○ 野球場などは規模が小さく業務費も安いので、規模の大きな立体駐車場にまとめないと参加者が集まらないと判断した。</p> <p>○ 今回の業務は 建築、設備、土木の内容が含まれており、その業務ができる者であれば参加は可能であると考えている。</p> <p>○ 本件は5名の審査員が厳密に審査している。</p> <p>○ そのとおりである。</p> <p>○ 当局の専門業種でかつ経験を有する者を選んでおり、提案内容を理解し、適切に審査できるものと考えている。</p> <p>○ 業者としてはこの価格で履行可能として応札したものと考えている。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		3件	(審議概要)
工	談合情報	0件	・談合疑義案件の処理状況について報告
事	点検結果疑義	3件	
業	談合情報	0件	
務	点検結果疑義	0件	
○委員からの		意見・質問	回答

意見・質問 ○それに対する 回答等	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			
3. 入札結果の事後的・分析結果について				
審議概要	令和元年度1/四半期～4/四半期分に関する建設工事及び建設コンサルタント業務に係る入札方式別の落札率、応札率、一者応札、一者応募及び一位不動等の状況について説明を行った。			
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回答	
	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			
4. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0件	（備考）	
建設工事	一般競争（政府調達協定対象外）	0件		
	指名競争	0件		
	随意契約	0件		
建設コンサルタント業務等※	0件			
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局	
審議対象期間	令和元年10月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	1件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	1件	（審議概要） ・審議対象案件における業務の概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯について説明
一般競争	1件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出事案について】</p> <p>一般競争入札方式 シュワブ（R元）作業船舶等航行安全管理業務</p> <p>○ この業務は今回が初めてなのか。</p> <p>○ 落札業者は前回と同じか。</p> <p>○ 毎度1者応募ということは、この業務には何か特殊性があるのか。</p> <p>○ 現場周辺海域を航行する作業船舶等に対する各種情報提供となっているが、空港の管制塔のような命令権限はあるのか。</p> <p>○ 調査基準価格が他の案件に比べて低くなっているがその理由は何故か。 また、総合評価方式における価格評価点と技術評価点の割合の設定方法についても説明されたい。</p>	<p>○ 平成29年度に引き続き2回目である。</p> <p>○ 同じである。</p> <p>○ 全国でもこのような業務は珍しいと思われるが、資格を有していれば入札に参加できる。 積算も港湾土木の請負工事積算基準の歩掛から算定可能である。</p> <p>○ 命令権限はない。工事に伴う作業船が安全に航行できるよう情報を提供・調整を行うものである。</p> <p>○ 役務契約であり、コンサルタント業務とは計算方法が異なっているためである。 また、業務内容に応じて評価点の割合を設定している。</p>

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局	
審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	362件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	(審議概要) ・調達の概要、競争参加資格の設定等について説明
一般競争	3件	
指名競争	0件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出事案について】 一般競争入札方式 「嘉手納飛行場（元）低濃度PCB廃棄物収集運搬・処分業務」 ○ 落札率が、52.72%と結構低いが、何か情報をつかんでいるか。	○ 予定価格が1,000万円以下ということで、低入札価格調査の対象ではなかったが、業者に聞取りしたところ、処分費や運搬費用をかなり抑えたということを確認している。 契約業者としては、この契約をどうしても取りたい意向があったと聞いている。
	一般競争入札方式 「航空機航跡観測装置更新等業務」 ○ 観測装置は、前回もこの会社が落札者となっていて、今回も1者応札となっている理由は何故か。 ○ 他社が特許技術を持っていないことで、株式会社リオンによる1者応札となったのか。 ○ そのような場合、随意契約にはならないのか。	○ 平成21年度から、航跡観測装置を設置しており、今回も同様に、株式会社リオンが請けている。 リオンが設置している観測装置については、2つの特許技術が用いられており、その他の会社が同様の技術を持っていないことから、1者応札になったものと承知している。 ○ 平成21年に設置した同様の機械を用いて、航跡を調査するのであれば、リオンしかその技術を持っていないと認識している。 ○ 平成21年に設置した機械を使った航跡調査を標準としているが、他方、前回設置してから10年の歳月が経過しており、同様の技術を用いた方法ではな

	<p>一般競争入札方式 「北部訓練場（元）返還跡地における植生回復調査等業務」</p> <p>○ 調査基準価格の算出方法について説明されたい。</p> <p>随意契約 「西普天間住宅地区返還跡地（元）文化財発掘調査及び磁気探査業務監理・検討業務」</p> <p>○ 磁気探査業務と文化財発掘調査業務の2つの調整役のようなことを行っているのか。</p> <p>○ 随意契約となった理由を説明されたい。</p> <p>○ 文化財発掘調査は、県の担当部署が実施すると認識しているが、民間でも対応可能なのか。</p> <p>○ 調査そのものは、宜野湾市教育委員会が行うのか。</p>	<p>くても、航跡を特定できる技術を持つ会社であれば、官側としてはそれを拒むものではないことから、一般競争入札としたものである。</p> <p>○ 算出方法について説明。</p> <p>○ まさにそのような形になっている。具体的な対応について説明すると、①関係機関との協議の支援・補助、②関係機関等への各種手続き書類の作成、調整、③工事用車両の通行に係る安全確保、④各種調査・工程調整、⑤当該返還地内を巡回し、自然環境の確認及び貴重動植物等の保護等の改善作業、⑥各種調査・工事等の施工業者との助言提供、⑦次年度の不発弾探査方法及び探査深度の検討、主に7つの業務を行っている。</p> <p>○ 簡易公募型のプロポーザル方式による契約となっている。最終的には、1者のみの応札となっている。そのため、落札率も高い状況となっている。</p> <p>○ 地元の宜野湾市に委託をして実施している。円滑に工事が進むように、監理業務を発注している。</p> <p>○ そのとおりである。</p>
--	---	--